



広島大学

広島大学大学院理学研究科
生物科学専攻

第7回 細胞生物学研究室セミナー

「細胞のかたちと機能」プロジェクト研究センター共催

2017年7月5日（水）16:30～17:30

理学部E棟002号室

齊藤 貴志 博士

理化学研究所・脳科学総合研究センター
神経蛋白制御研究チーム 副チームリーダー

アルツハイマー病は治せるのか？

これからの展望

世界の認知症患者1億人、日本では500万人時代の到来！2025年問題を抱え、介護離職、老々介護など様々な社会問題の根本原因とされるアルツハイマー病（AD）の最初の症例報告から110年。これまでに多くの研究成果が積み上げられてきましたが、いまだ治療・予防・早期診断ができるまでに至っていません。この難しさは何に起因するのか、今後どうすれば病気の克服への道を辿ることができるのでしょうか？老化疾患研究の難しさと、それを打開するための方法は？本セミナーでは、その一手として我々が作製した新規ADモデルマウスの解析から見えてきたことを紹介し、いかに応用していくかを議論・共有したいと思います。また将来的に、異分野融合による展開へのきっかけになれば幸いです。

研究に興味のある学部学生・大学院生は気軽に聞きに来てください。教員の皆さまのご来場もお待ちしております。

連絡先：理学研究科生物科学専攻・細胞生物学研究室
千原崇裕（内線：7443）tchihara@hiroshima-u.ac.jp